

加美町は 東京パラリンピック チリ共和国の ホストタウン!

日本からチリまで
17179.6km



～チリ共和国のパラリンピック選手を応援しています～

★登録の経緯

加美町は東日本大震災で被災した南三陸町の住民を受け入れるなどの復興支援を行ってきました。チリ共和国も同様に、チリ地震や東日本大震災を通じて南三陸町と交流を続けてきました。こうしたチリ共和国からの支援に対して、加美町が「復興ありがとうホストタウン」になることで、感謝を伝えることとしました。

★復興ありがとう ホストタウン

東日本大震災で被災した3県(岩手・宮城・福島)の市町村が、海外の国・地域の方々へ、これまでの支援への感謝の意を伝え、復興の様子を見ていただきながら、選手と住民との交流を行うホストタウンのことです。加美町は、チリ共和国のパラカヌー選手団と様々な交流をしました。

★取り組んだ内容

2019年8月26日～9月8日、チリ共和国のパラカヌー選手団は、東京パラリンピック大会に向けた合宿を加美町で行いました。

午前は中新田高校で筋力トレーニング、午後は鳴瀬川でカヌーの練習。オフの日は住民の方々と様々な交流を行いました。

チリ共和国について

チリ共和国(通称チリ)は、1818年にスペインから独立

【公用語】スペイン語

【首都】サンティアゴ 【通貨】チリペソ

【人口】1873万人(2018年)

【日本との時差】12時間(夏時間)

チリは南米大陸の南端に位置し、東西170km、南北は全長4300kmもあり、世界一細長い国です。面積は日本の約2倍。



旭小学校との交流(2019年2月調印式)



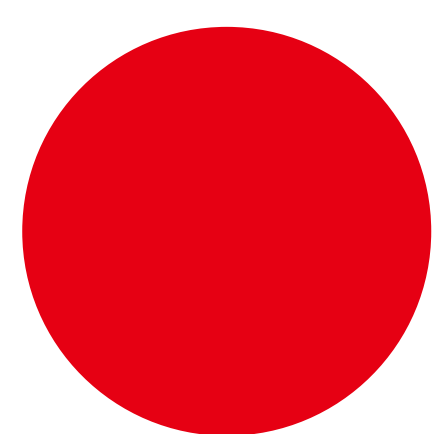
合宿時、南三陸町との交流。
震災後の復興の様子を伝えた



加美消防署による救急訓練



東北福祉大学主催の防災運動会
にて鹿原小学校の児童と交流



Japan × Chile

